



目標を目ざして

ピリ 3:12

ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、3:14 **目標を目ざして**走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。

セブンスデー・アドベンチストにとって、 目標は完全な品性!

マタイ5:48 それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

エペソ5:27 また、しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、清くて傷のない栄光の姿の教会を、ご自分に迎えるためである。

ピリ 3:12 わたしがすでにそれを得たとか、**すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。**そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。

3:13 兄弟たちよ。**わたしはすでに捕えたとは思っていない。**ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、3:14 **目標を目ざして走り**、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。

3:15 だから、わたしたちの中で全き人たちは、そのように考えるべきである。しかし、あなたがたが違った考えを持っているなら、神はそのことも示して下さるであろう。

ヘブル6:20 :「その幕の内に、イエスは、永遠にメルキゼデクに等しい大祭司として、わたしたちのためにさきがけとなって、はいられたのである」。

1. 主がわたしたちのためにさきがけとなって天の聖所に入られた。
2. そして今、至聖所に一幕の内に入られたのは、私たちが完成するためなのです。
3. そのために大祭司としての最後の働きー最後のあがない、最後の清めの業をするためです。
4. 私たちも至聖所において至聖者といとも聖なる者となって主を迎える栄誉にあずかるためです。

ガラテヤ2:19 わたしは、神に生きるために、律法によって律法に死んだ。わたしはキリストと共に十字架につけられた。

1. み神のうちに 生かされているのに
自分一人で生きていると
思いつづける心を
砕いて 砕いて 砕き給え



2. み神に深く愛されているのに
共に生きる人を真実に
愛し得ない心を
砕いて 砕いて 砕き給え



3. み神に罪を赦されているのに
他人の小さなあやまちさえも
赦し得ない心を
砕いて 砕いて 砕き給え



患難下263-264

「きよめは、一瞬、1時間、1日だけの働きではなく、一生の働きである。それは感情の幸福な高揚によって得られるのではなく、絶えず罪に死に、絶えずキリストのために生きることの結果である。弱々しい、時たまの努力では、間違いを直すことも、品性を改善することもできない。長い、忍耐強い努力と、苦しい訓練と、断固たる戦いによってのみ、われわれは勝利することができる。われわれは次の日の戦いがどんなにきびしいものになるかを知らない。

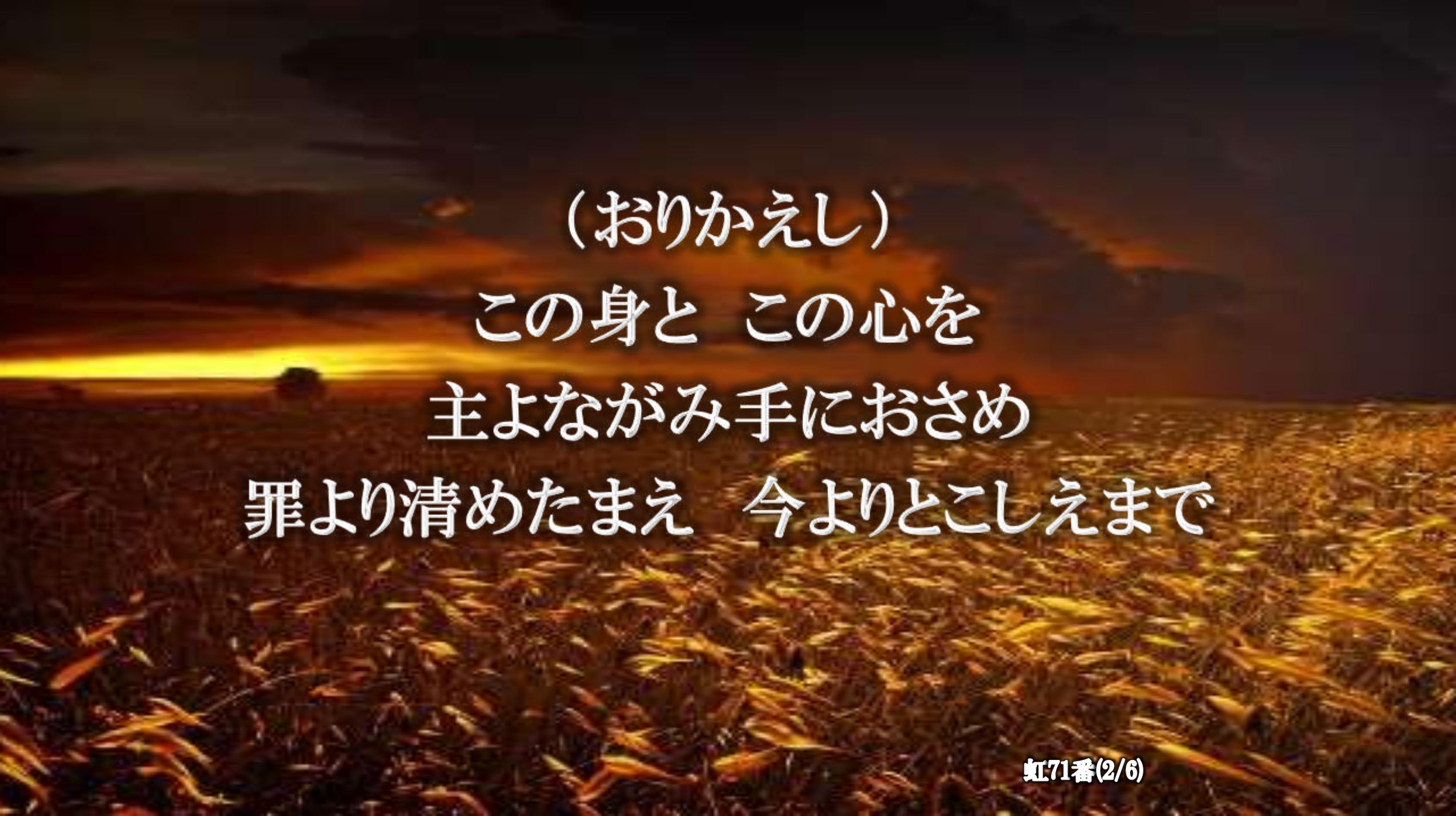
サタンが支配しているかぎり、われわれは自我を静めて、絶えずつきまとう罪にうち勝たねばならない。生きているかぎり、留まる場所もなければ、完全にやり遂げたと言えるところもない。きよめは生涯の服従から生じるものである。

使徒や預言者たちの中には、だれも罪がないと主張した者はいない。神に最も近く生きた人々、知っていて悪い行いをするよりはいのちを犠牲にしようとする人々、神が聖なる光と権能をもって賞賛した人々は、自分たちの性質の罪深さを告白してきた。彼らは自分自身に信頼せず、自分の義を主張せず、キリストの義を深く信頼した。

キリストを見る者たちはみな、このようになる。イエスに近づけば近づくほど、そして、キリストのご品性の純潔さが更にはっきり認められるようになるほど、ますます罪のひどい罪深さを明らかに見るようになり、われわれ自身を高める気持ちはますます消えていく。魂は神を求めて絶えず手を伸ばし、罪の悲痛な告白を絶えず、まじめにささげて、神のみ前に心を謙虚にする。クリスチャン経験において1歩進むごとに、われわれの悔い改めは深まる。

われわれはキリストによる以外に満足はないことを知り、使徒パウロの告白をわれわれもするのである。『わたしの内に、すなわち、わたしの肉の内には、善なるものが宿っていないことを、わたしは知っている』。『わたし自身には、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇とするものは、断じてあってはならない。この十字架につけられて、この世はわたしに対して死に、わたしもこの世に対して死んでしまったのである』(ローマ 7:18、ガラテヤ 6:14)。

1.なお深き祈りもて なお低くへりくだり
なお多く十字架を負い
主のごとくならまほしや

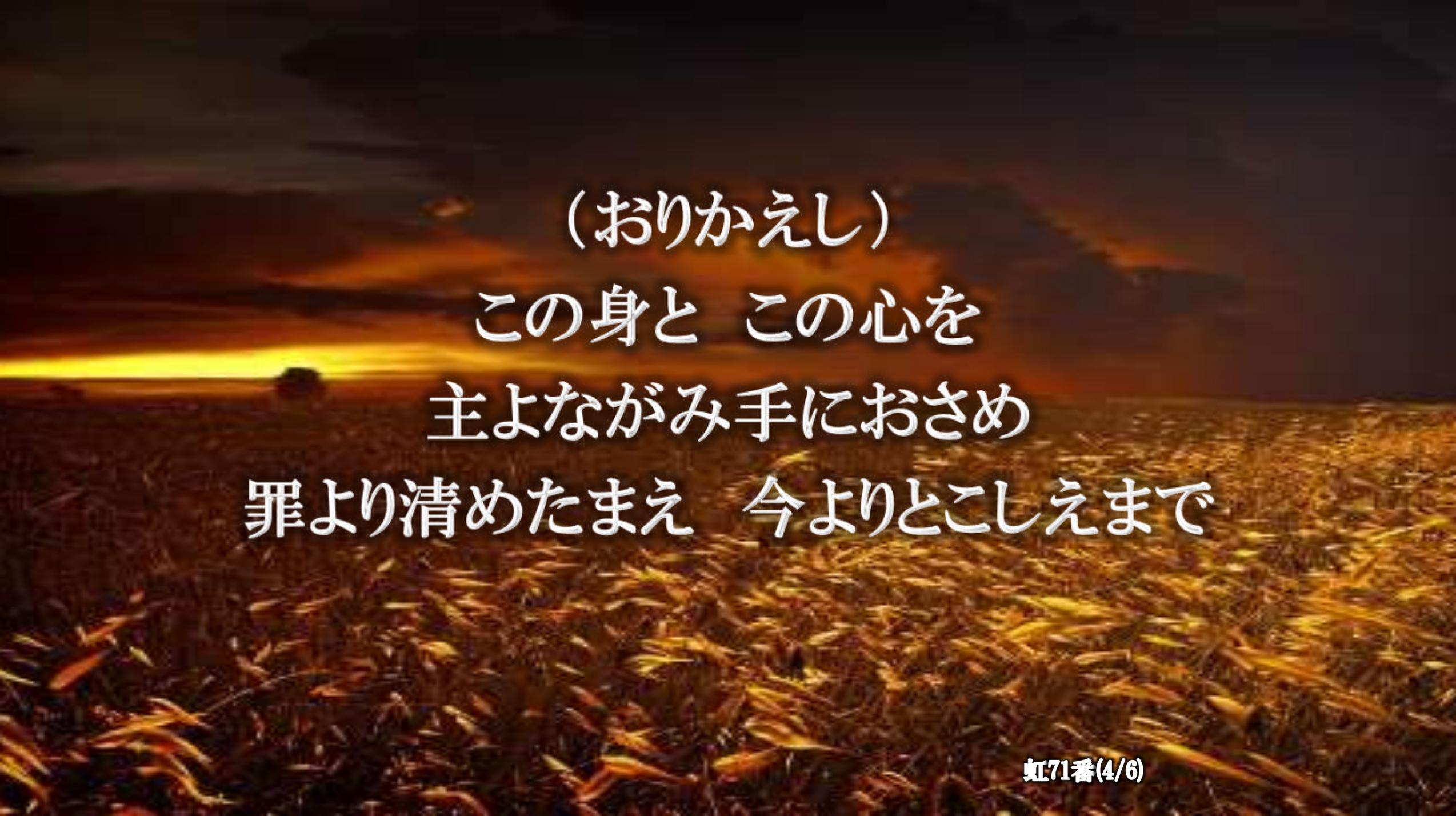
A wide-angle photograph of a vast field of golden wheat, likely during harvest time. The sky is a mix of dark blue and orange, suggesting a sunset or sunrise. The text is overlaid in the center of the image.

(おりかえし)
この身と この心を
主よながみ手におさめ
罪より清めたまえ 今よりとこしえまで

2.なお広き愛もて なお堅くよりすがり

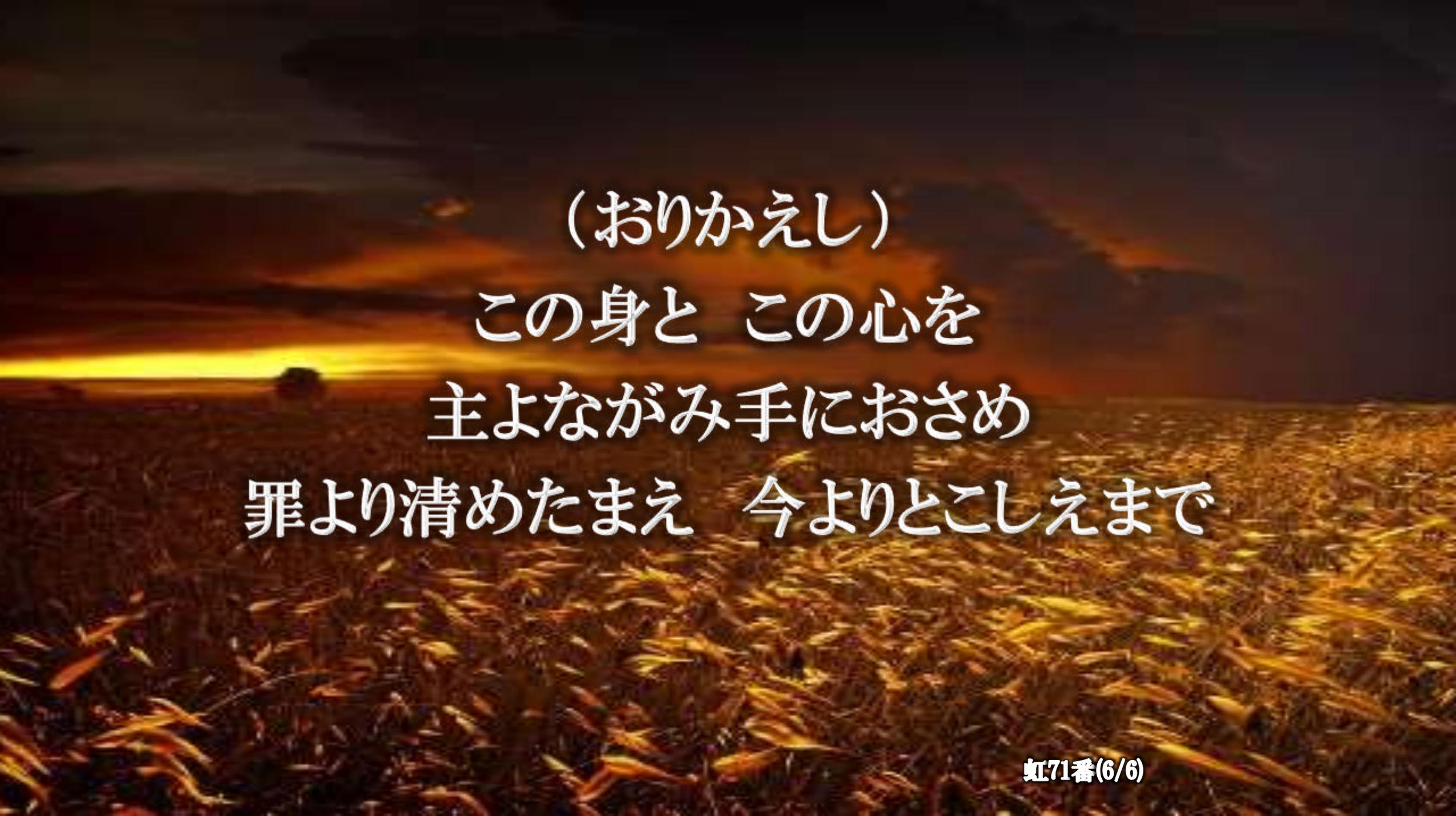
なおあつく みわざをなし

主のごとくならまほしや

A wide-angle photograph of a vast field of golden wheat stretching towards a horizon under a dramatic sunset sky. The sun is low on the horizon, creating a bright orange glow that fades into a darker, cloudy sky. The wheat in the foreground is in sharp focus, showing individual stalks and heads. The overall mood is peaceful and contemplative.

(おりかえし)
この身と この心を
主よながみ手におさめ
罪より清めたまえ 今よりとこしえまで

3.なお高きめあてへと
なおまたく歩みなば
なお近く主をば見つめん
主のごとくならまほしや

A field of golden wheat under a sunset sky. The sun is low on the horizon, casting a warm, golden glow over the scene. The wheat stalks are in the foreground, and the sky is a mix of orange, yellow, and dark blue.

(おりかえし)
この身と この心を
主よながみ手におさめ
罪より清めたまえ 今よりとこしえまで

ピリピ2:12 わたしの愛する者たちよ。...恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。

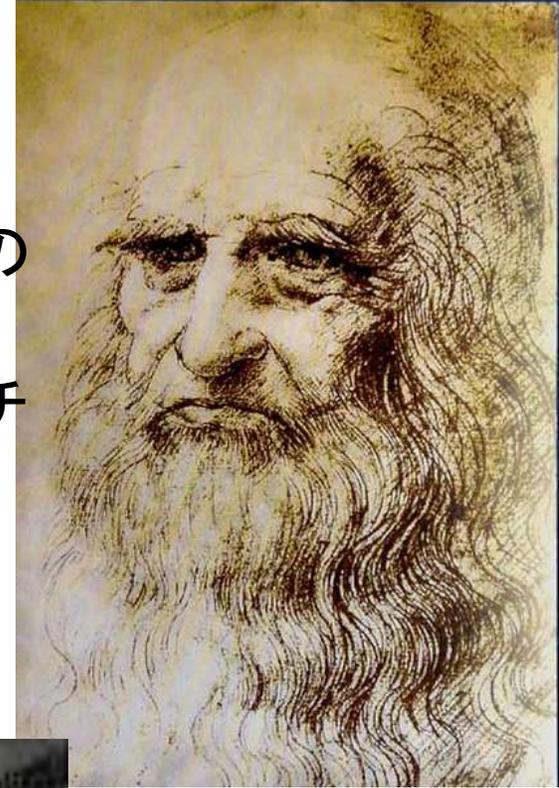
2:13 あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

1. 完成の実現に至らせるのは神である。願いを起こさせるのは神である。実現するのも神である。

2. しかし、私たちも努力しなければならない。「聖なる努力」

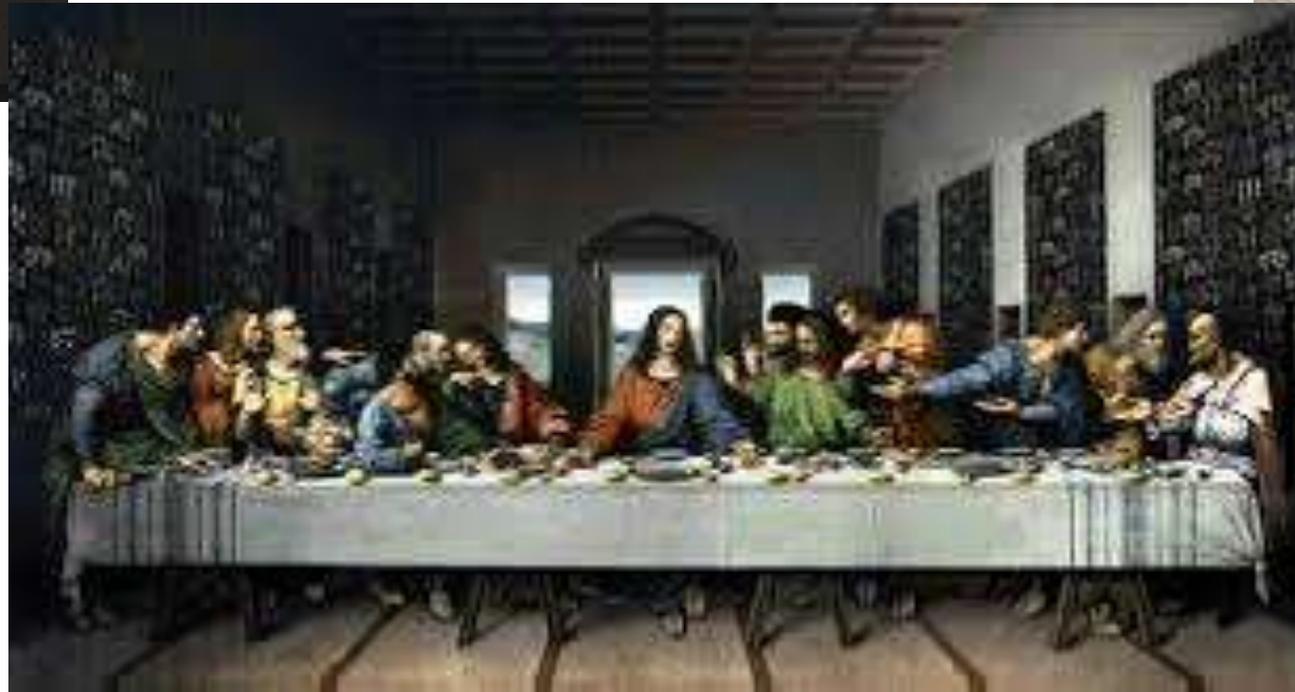


ルネッサンス時代の
巨匠
ロナルド・ダヴィンチ



20世紀最大の
ヴァイオリニスト

ヤツツ・ハイフェッツ



ゴール(目標)に達したいと願望を起こさせる動機は?

イザヤ書43:7 すべてわが名をもってとなえられる者をこさせよ。わたしは彼らをわが栄光のために創造し、これを造り、これを仕立てた」。

キリストへの道10,11

「私どもの贖いのために払われた価、私どものためにそのひとり子に死をさえおゆるしになった天の神の測り知れない犠牲を考えると、キリストによって私どもは非常に高潔な状態に到達することができるという観念をおこさずにはおられません」。

ヘブル12:2 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をいとわないうで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。



1. めさめよ、わが霊(たま) ころろ励み
ちからのかぎり に いそぎ進め
いのちの冠は わがためにぞ
天にゆくはせばに そなえらるる

2. ものみの人々 雲のごとく

むらがり囲みて われを眺む

わきめもふらずに 走りすすめ

さかえをさずくる 主は呼びたもう

3. 見よ、そのさかえの かがやけるを
並ぶべきものは またとあらし
この世の君らの 花のかざり
黄金のかむりも 光ぞなき

4. みめぐみ豊(ゆた)けき 救い主の
み声のまにまに 走るこの身
かちの日きたらば そのほまれは
わが主の力と 歌いまつらん

